

(別紙3)
文起第1064号-1
令和6年12月3日

(施設名) 米子市淀江文化センター
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司 ㊟

令和5年度「米子市淀江文化センター」指定管理者業務評価書

施設名	米子市淀江文化センター
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人 米子市文化財団
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日(3年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

淀江という立地を生かし地元を主とした企画・取組みが行われ、一定台数が駐車できる駐車場を保有し、車で来館しやすいという特徴を活かした子供向け、家族向けの事業を展開し、気軽に施設を利用できる事業が行なわれている点が評価できる。

さらに、敷地内の草刈り等の環境整備を職員で行い、老朽化した施設、設備の不具合に迅速に対応し、小規模な修繕については職員で実施するなど施設管理に対する取り組みも評価できる。

【第三者評価】

① 施設について

○玄関アプローチの照明が改善された。

② 管理について

○不具合の対処を迅速に行っており問題ないとする。

○老朽化が進んでいるが、毎日の点検、整備が行き届いている。

③ 事業について

○施設の立地を活かし、工夫をされた自主事業が企画されている。

○積極的に広報活動が行われている。

○子ども向け事業が特徴的で、市民の文化鑑賞の機会提供に貢献している。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

引き続き適切な施設管理に努めるとともに、施設及び地域の特性を生かした企画や立地条件を生かした子供向け、家族向けのイベントなどに取組み、他館との差別化をいっそう明確にすることで施設の存在感を高めてほしい。上淀廃寺等の史跡を活用するなど、伯耆古代の丘公園、上淀白鳳の丘展示館と連動した企画等も今後期待したい。また地域の住民の文化交流の拠点となるよう、利用しやすい施設の運営に努めていただきたい。

【第三者評価】

○地域性のあるイベントや地元の芸術家のステージ、親子で他の染めるイベントはぜひ継続し、情報発信も増やしてほしい。

○積極的な企画でより一層集客を増やしてほしい。

○これまで以上に家族向けの自主事業を取り入れてほしい。

令和5年度下期「米子市淀江文化センター」モニタリング評価表 〔令和6年8月〕

施設名	米子市淀江文化センター	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	(一財) 米子市文化財団
	所在地	米子市淀江町西原708-4
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
選定方法	公募 ・ 非公募	
施設の設置目的	米子市淀江文化センターは旧淀江町が伯耆芸術文化の里創造事業の一環として建設し、文化活動の普及及び振興を図ることを目的としている。	
主な実施事業	鑑賞事業（優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供） 年間3回程度 参加型事業（多数の市民が参加できる芸術文化の発表の機会提供） 年間3回程度 教育普及事業（芸術文化に関する普及活動、情報提供） 年間3回程度	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認（60点）			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	資料確認・現地確認 専任館長、企画員兼事務員を配備し管理体制を向上している。
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 適宜研修が実施されている。
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料確認・現地確認 中海テレビの「みんなの伝言板」やホームページ、Facebook など様々なメディアなどを介して、イベントのPRを積極的に行うことで利用促進を図っている。
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	資料確認 新型コロナウイルス感染拡大防止対策に則り、安心・安全に施設が利用できるよう努めている。
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認・現地確認 自主事業についてはアンケート用紙が配布され、要望等の実現策を検討していた。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適正に行われている。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料確認 入口の点字ブロックの貼替、大ホール通路の蛍光テープ貼付など、利用

			者の安全に配慮した環境整備に努めている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	資料確認・聞き取り確認・現地確認 事業計画書通り事業は実施されている。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料確認 適切に行われている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	資料確認・現地確認 淀江という立地を生かし地元を主とした企画・取組みが行われているほか、気軽に施設を利用できる事業が行なわれ、他館と区別化が行われているため。
Ⅱ サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料確認 自主事業の際は、アンケートを配布集計され月例などで報告がされ、利用者の回答内容は概ね良好であった。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	資料確認 大ホールの座席を定期的にチェックを行うことで、カビや汚れを発見し、職員等で清掃活動を行ったり、簡易な補修を自前で行うなど、適切な対応を行ったため。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	現地確認・聞き取り確認 利用者に対する対応について適切に行われている。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	資料確認・現地確認 駐車場から近いという立地条件を活かした子供向け、家族向けの事業が展開されている。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	資料確認 ホールだけでなく、イベントホール、ロビー等を活用した多様な事業を行い、文化活動の普及及び振興を図るといった設置目的に即した管理内容であった。
Ⅲ サービスの安定性の評価 (15点)			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料確認 妥当である
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料確認 妥当である
3 団体等の経営状況(年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料確認 妥当である

【総評（所管課評価）】 淀江という歴史遺産に恵まれた立地を生かし、地元を主とした企画・取組みが行われている。また、駐車場との距離が近く車で来館しやすいという特徴を活かした子供向け、家族向けの事業を展開し、気軽に施設を利用できる事業が行なわれ、他館と差別化が行われている点も評価できる。 さらに、敷地内の草刈り等の環境整備を職員で行い、老朽化した施設、設備の不具合に迅速に対応し、施設管理に対する取り組みも評価できる。	合計点 (70) 点 / (100) 点 ×100＝ (70) 平均点 (3.5) 点
---	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1～※4 別紙のとおり

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特段なし。

6 利用者アンケートの結果

自主事業について概ね事業を支持する良好な結果であった。

補足資料【米子市淀江文化センター】

モニタリング期間

令和5年

〔令和5年4～令和6年3月〕
〔令和4年4～令和5年3月〕

※ 1 利用状況

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕 A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	309	307	2	100.7 (%)	
施設利用者数	39,932	32,346	7,586	123.5 (%)	コロナ第5類移行のため
施設稼働率	100.0 %	100.0 %	0.0	100.0 (%)	
事業開催数	22	19	3	115.8 (%)	

※ 2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕 A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	6,631,971	6,127,876	504,095	108.2 (%)	
指定管理料	48,018,000	44,925,000	3,093,000	106.9 (%)	
事業収入	699,100	570,400	128,700	122.6 (%)	事業の入場者数が増えたため
補助金及び助成金	0	1,559,372	-1,559,372	0.0 (%)	R4は燃料費補助が交付されたため
その他	356,570	396,117	-39,547	90.0 (%)	
合計	55,705,641	53,578,765	2,126,876	104.0 (%)	

(2) 支出

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕 A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	22,299,614	23,011,792	-712,178	96.9 (%)	
委託料	19,994,381	19,700,723	293,658	101.5 (%)	
施設費	15,550,312	13,589,084	1,961,228	114.4 (%)	
事業費	1,133,714	1,071,183	62,531	105.8 (%)	
事務局費	3,889,000	3,701,000	188,000	105.1 (%)	
合計	62,867,021	61,073,782	1,793,239	102.9 (%)	

※ 3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕 A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
① 事業収支	-7,161,380	-7,495,017	333,637	95.5 (%)	事業収入が増になったため
② 利用料金比率	11.9 %	11.4 %	0.5	104.4 (%)	
③ 人件費比率	35.5 %	37.7 %	-2.2	94.2 (%)	
④ 外部委託費比率	31.8 %	32.3 %	-0.5	98.5 (%)	
⑤ 利用者当たり管理コスト	1,574.4	1,888.1	-313.7	83.4 (%)	
⑥ 利用者当たり自治体負担コスト	1,202.5	1,388.9	-186.4	86.6 (%)	

※ 4 団体等の経営状況

項 目	令和 1 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	備 考
①自己資本比率	62.8 %	44.8 %	55.5 %	61.2 %	54.6 %	
②流動比率	323.6 %	196.3 %	257.0 %	312.3 %	247.8 %	
③固定長期適合率	11.0 %	12.6 %	10.9 %	10.5 %	9.5 %	
④総資産経常利益率	-0.5 %	-8.1 %	8.8 %	3.9 %	2.9 %	
評 価	(以上の指標を参考に評価する。)					